

1-10 クルーとシート

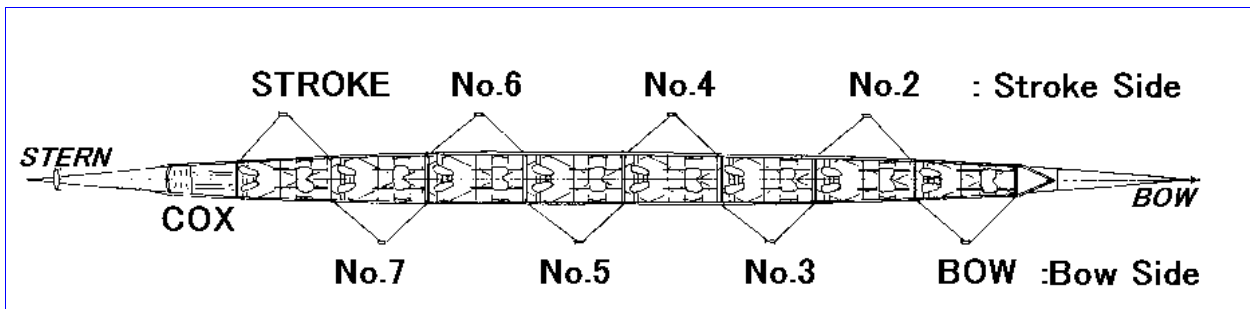
1 クルー、ローヤー、コックス

●ボートには、ローヤーとか漕手（そうしゅ）と呼ばれる漕ぎ手と、舵を操作し指示を出すコックスとか舵手（だしゅ）と呼ばれる人が乗り、クルーと呼ぶチームを構成します。コックスの乗らないタイプもあります。

●コックスは、ラダーともいう舵を操作し、またローヤーに指示を出します。舵手の乗らないタイプ；なしフォアや舵手なしペアなどでは、操舵漕手またはステアズマンと呼ばれる漕手が、ストレッチャーに付けられた装置で、ラダーを操作します。

2 シート（ポジション）

●ボートの進行方向の先端、へさきのことをバウと言い、船尾、ともなことをスターンと言います。漕手のポジションは、バウ側から順番に番号がつけられています。エイトでは、1番から8番までです。特に、最もバウよりの漕手は「バウ」といい、最も艇尾よりの漕手は「整調（せいちょう）」または「ストローク」と呼びます。



3 サイドとペア

●漕手への指示は、ポジション+指示のパターンで行います。ポジションは、番号だけでなく、サイド、ペアなどの組み合わせを使います。基本配列のフォアでは、右舷を漕ぐバウと3番を「バウサイド」と呼び、左舷を漕ぐ2番と整調を、整調サイドまたはストロークサイドと呼びます。バウと2番はバウペア、3番と整調はストロークペア、2番と3番はミドルペア、バウと整調はアウトペアと呼びます。これら呼び分けて、ボートを動かします。

●なお、スカルの場合は、一人が両サイドを漕ぐので、バウサイドも整調サイドもないのですが、慣用的にスイブと同様に呼ばれることが多いです。漕手は後ろ向きに座るので、「右・左」だけでは混乱のもとです。サイドを言い分けるときは、「右手側・左手側」、または「右舷（うげん）・左舷（さげん）」で呼びましょう。英語では、右舷をスターボード（starboard）、左舷をポート（port）と言います。

4 クルーの服装

●ロウイング専用のスーツもありますが、練習は普通に運動できる服装で充分です。手が引っかかりやすいポケットには要注意です。また、安全のために、できるだけ目立つようなものが良いでしょう。寒い時期には、防寒対策も十分にしましょう。